

## 保育研究会 保育のたまて箱「ピコロ」 活動報告

初等教育科 石川千穂子・渡邊 晴香

保育研究会 保育のたまて箱「ピコロ」は、令和元年度に発足し今年度で5年目を迎えた。幼稚園や保育所、認定こども園などの保育現場で、実際に役立つ保育者としての技術や教材の知識が身につくようにと楽しく練習をしている研究会である。令和5年度は、発足当時の顧問教員の退職を受けて私たち2名が研究会を引き継ぎ、1年生7名、2年生10名の計17名で活動を行ってきた。その活動について報告する。

### 1. 令和5年度の活動

研究会活動の内容を、パネルシアターの技術習得を中心に据え、毎週水曜日に活動を行った。その中で「パネルシアター劇団DANパネ団」の渡辺繁治先生から4回（6月28日、7月5日、11月8日、11月22日）、技術習得に向けてご指導いただいた。その成果をまず初めに7月8日（土）玖珠ホテルメサビュート（大分県玖珠郡）大ホールにて行われた子どものひろば「親子で楽しめるフェスティバル」にて披露した。そして、8月30日（水）には乳児院栄光園にて、その後も11月29日（水）に行われたウィンターフェスティバルや12月2日（土）に行われたおんせん演劇祭、2月1日（木）別府大学附属幼稚園など様々な場でパネルシアターを披露し、多くの子どもたちや保護者の皆様、学生から拍手をいただくまでに成長した。

この1年間の活動を通して、はじめは絵人形を動かすだけで精一杯であった姿から観客とのやり取りを楽しむことができるまでに大きく変化していった。渡辺繁治先生（通称:なべさん）のご指導と学生たちの頑張りの成果であると考える。



なべさんによる研究会での指導風景

### 2. 研究会リーダーやメンバー達からの声

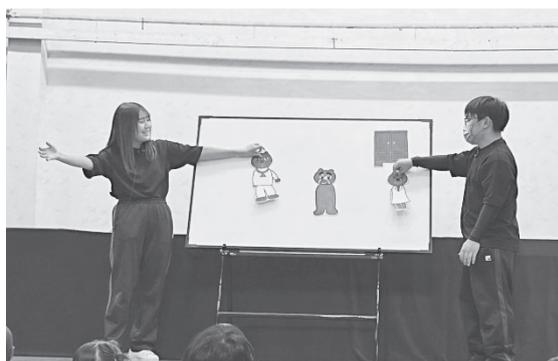
(1) 子どものひろば「親子で楽しめるフェスティバル」(大分県玖珠郡)でのイベントを通して  
2年 浅尾奈々恵(リーダー)

1年生がピコロに入ってくれて初めてのイベント参加でした。私は「猫のお医者さん」を1年生と一緒にしました。私は1年生の時からずっと「猫のお医者さん」のパネルシアターをしてきましたが、子ども達と一緒に楽しむにはどうすればいいのだろうとずっと悩んでいました。今回はDANパネ団のなべさんに事前指導をして頂き、子ども達と一緒に楽しむコツやパネルの動かし方、声のトーンなど専門的な事をたくさん教えていただきました。「猫のお医者さん」は歌に合わせて動かすだけでなく患者さんとのコミュニケーションの部分も見どころと

なるパネルシアターだったので、とても難しく苦戦していました。なべさんとの練習動画を見ながらペアの1年生とピアノの2年生と一緒に何度も練習を重ね、より良い「猫のお医者さん」を作り上げられるよう頑張りました。

迎えた当日。とても緊張し直前まで声が震えていてセリフが飛んだらどうしようなどの不安でいっぱいでした。でも、自分が楽しんで演じれば子ども達にもその気持ちが伝わり一緒に楽しめると思い、練習してきた成果を出し切ろうと頑張りました。結果として子ども達や保護者の方の笑顔がたくさん見ることができとても嬉しかったです。練習してきてよかったと達成感を味わうことができました。イベントと一緒に参加していた他の研究会の方からも「すごく上手だった！おもしろかったよ！」と言ってもらえて、とても嬉しかったです。

イベント参加を通して「努力をしてよかった。」と達成感と一緒にパネルを頑張ってくれた1年生、ピアノを弾いてくれた2年生、ご指導して頂いたなべさんへの感謝の気持ちでいっぱいでした。この経験を今後の保育者になってからも活かしていきたいです。

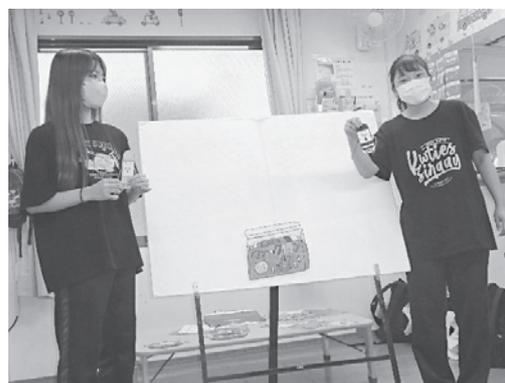


「親子で楽しめるフェスティバル」 玖珠公演

## (2) 乳児院栄光園への訪問

1年 佐藤 美遥 志手 美咲 伊東 蒼生  
先輩方がいない中、1年生だけでのパネルシアターが初めてで私たちはとても緊張していました。練習の時でも、声が小さかったりパネ

ルをうまく動かすことができなかつたりとパネルシアターの難しさを痛感しました。先輩方の動画と自分たちで行った動画を見比べながら練習をしたり、先生からアドバイスをいただいたりして練習に励みました。なかなか全員揃わず、練習も思うように進まないこともありましたが、少ない時間でも練習を重ねるうちにだんだんとできるようになって来て、楽しいと思えるようになりました。迎えた本番は事情があり、少ない人数の前での発表となりましたが、それでもやはり緊張していました。その緊張が子どもたちにも伝わってしまい、なかなか打ち解けることができませんでした。しかし、乳児院の先生方や顧問の先生のおかげもあり、少しずつ距離が縮まっていき、子どもたちと打ち解けることができとても嬉しかったです。そしてパネルシアターでは、自分たちが一生懸命練習した成果を発揮し、無事成功をおさめ、1年生にとって大きな成長の機会を得ることができました。何よりも、子どもたちの笑顔を見ることができ、一生懸命練習してよかったと心から思いました。パネルシアター披露の後は子ども達と直接触れ合うなど貴重な体験をすることができ、とても嬉しかったです。初めて1年生だけで最初から最後までやってみて、慣れないところもありましたが、終わった時には大きな達成感を感じました。もっと練習して、沢山の場でまたパネルシアターを披露したいと思いました。これからこの貴重な経験を活かして更



栄光園訪問 公演

に成長していけるよう頑張っていきます。

### (3) ウィンターフェスティバルを終えて

2年 河野 若葉

私はこの研究会に入り、初めてパネルシアターというものを知りました。最初は興味本位で入った研究会でしたが、パネルシアターを練習していくうちに、子どもとやり取りする楽しさや子どもたちが喜んでくれた時の達成感を味わえるようになりました。

ウィンターフェスティバルでは、大勢の子ども達や学生・先生方の前でパネルシアターを披露しました。練習の時はDANパネ団のなべさんや先生方にご指導を頂きながら、パネルの動かし方や子どもが楽しめるような振り付けを考えたり、音楽と合わせて出来るかを確認しながら実際にやってみたりしました。ですが、やはり練習の時と本番は全く違いました。本番は会場が大きく、マイクがあっても声が届きにくかったので、できるだけ大きい声でパネルシアターをしました。とても緊張しましたが、子ども達を前にし笑顔を見ると、こちらまで嬉しい気持ちになり自然と笑顔になることが出来ました。そして、様々な園の子ども達の前で練習の成果を発揮することができ、大きな達成感がありました。このような経験はこれからもあまり出来ないと思うので、このウィンターフェスティバルで経験させて頂き、とても勉強になりました。他の先生方からも、「ピコロの発表とても良かったよ！」と声をかけていただき、他の学生も一緒になってダンスを踊ってくれたので、自分の中でも忘れられないとても良い思い出になりました。そして何より、楽しく活動することが出来たので良かったです。

### (4) ボランティア活動を経験して

2年 宮崎 媛花

私は2年次にボランティア活動として、松家



ウィンターフェスティバル2023

まきこさんとDANパネ団の方が主催している活動に参加させていただきました。DANパネ団の方や松家さんのパネルシアターを拝見させていただいたり、参加した子どもたちや保護者の方々とタオルを使った活動を一緒にさせていただいたりしました。その中でもタオルを使った活動では、音楽に合わせて体をつかったゲームをしたり、輪ゴムなどを使ってウサギの形を作ったりしました。このような活動は、保護者と子どもで家でもできる遊びとして、とても素敵な活動だと感じました。

パネルシアターは、子どもの反応を見ながら実際に子ども達の前ですが、先生方のパネルシアターは子ども達とのやり取りを楽しみながらされていました。子ども達も生き生きとした表情でとても楽しそうにパネルシアターを見ていました。自分たちのペースで進めるのではなく、子どもが興味を示している部分はしっかり時間を取ってゆっくり進めたり、音楽に乗ってリズム良くしたりし、工夫をすることが大切だと学ぶことが出来ました。

先生方が子どもたちと接する様子を見て、どのように関わって子ども達や保護者の方々とお話ししていけば、スムーズに活動に繋げることが出来るかなども知ることが出来ました。今回のボランティア活動を通して学んだことを次の研究会での活動や、就職した際の子供達や保護者との関わりの中で活かしていきたいと思えます。